

第42回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会

鳥取県人権教育推進協議会
第42回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会実行委員会

ご 案 内

人権が尊重される社会の実現に向けて、日々ご努力いただいている県民の皆様から感謝の意を表します。
1974（昭和 49）年、部落問題の解決を全県民の力で成し遂げようとの願いから出発した本研究集会は、回を重ねる中で部落問題をはじめ様々な人権問題に気づき、それを解決しようとする広がりや深まりを持った集会へと発展してきました。これまでの成果をもとに本年も新たな取り組みをしていかなければなりません。本研究集会の一層の充実と発展をめざし「第 4 2 回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」を開催します。
社会に存在する具体的な人権問題について県内各地域における実践を持ち寄って交流しましょう。そして自らの問題として話し合いを深め互いの実践の成果に学び合う研究集会にしていきたいと思います。
私たち県民の研究集会として、多くの皆様の参加をお願いします。

開 催 要 項

- 目 的** 本研究集会は、今日まで積み上げてきた差別の現実から深く学ぶ実践・交流の成果を踏まえ、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、人権尊重社会の実現に向けて、全県民を対象とした集会として開催します。
- テーマ** 「人権尊重社会の実現に向けて、研究と実践を交流しよう」
- 主 催** 鳥取県人権教育推進協議会
第 42 回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会実行委員会
- 期 日** 2017（平成 29）年 **8 月 3 日（木）**
- 会 場** 全体会（午前）：メイン会場 **県立倉吉未来中心 大ホール**（要約筆記、手話通訳があります）
サブ会場①県立倉吉未来中心 小ホール サブ会場②県立倉吉未来中心 セミナールーム 3（メイン会場の映像をサブ会場で放映します。）
分科会（午後）：県立倉吉未来中心 大ホール 他中部地区 7 会場
- 日 程**

9:00	9:45	12:00	13:15	16:00
受付	全体会（開会行事・基調提案・講演・ミニライブ）	昼食・休憩・移動	分科会	閉会
- 講 演** **演 題「部落差別解消推進法の意義と今後の課題」**
講 師：九州大学名誉教授 内田 博文 さん
- アトラクション** ミニライブ&実践紹介 **西部の「わ・わ・わ」**
(鳥取県西部地区の人権教育担当有志によるグループ)
- 後 援** 鳥取県 鳥取県教育委員会 倉吉市 倉吉市教育委員会 湯梨浜町 湯梨浜町教育委員会 三朝町 三朝町教育委員会 北栄町 北栄町教育委員会 琴浦町 琴浦町教育委員会 鳥取県議会 鳥取県市長会 鳥取県町村会 鳥取県市議会議長会 鳥取県町村議会議長会 鳥取県市町村教育委員会研究協議会 公益社団法人鳥取県人権文化センター 鳥取県同和对策協議会 部落解放同盟鳥取県連合会 部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会 鳥取県子ども家庭育み協会 鳥取県国公立幼稚園・こども園長会 鳥取県私立幼稚園・認定こども園協会 鳥取県人権保育連絡会 鳥取県小学校長会 鳥取県中学校長会 鳥取県高等学校長協会 鳥取県私立中学高等学校長会 鳥取県特別支援学校長会 鳥取県 PTA 協議会 鳥取県高等学校 PTA 連合会 国立大学法人鳥取大学 公立大学法人公立鳥取環境大学 鳥取看護大学・鳥取短期大学 鳥取県公民館連合会 鳥取県隣保館連絡協議会 鳥取県児童館連絡協議会 鳥取県連合青年団 鳥取県連合婦人会 社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 社会福祉法人鳥取県身体障害者福祉協会 鳥取県精神障害者家族会連合会 一般社団法人鳥取県手をつなぐ育成会 日本労働組合総連合会鳥取県連合会 鳥取県教職員組合 鳥取県高等学校教職員組合 鳥取県職員連合労働組合 自治労鳥取県本部 部落解放鳥取県共闘会議 一般社団法人鳥取県経営者協会 鳥取県商工会議所連合会 鳥取県商工会連合会 鳥取県中小企業団体中央会 公益社団法人鳥取青年会議所 鳥取県農業協同組合中央会 鳥取県仏教連合会 一般社団法人鳥取県建設業協会 一般社団法人鳥取県東部建設業協会 鳥取市人権啓発企業連絡会 倉吉市同和問題企業連絡会 米子市人権問題企業連絡会 鳥取県在日外国人教育研究会連絡会 鳥取県男女共同参画推進会議 ㈱新日本海新聞社 山陰中央新報鳥取総局 朝日新聞鳥取総局 産経新聞鳥取支局 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 中国新聞鳥取支局 NHK 鳥取放送局 日本海テレビ TSK山陰中央テレビ BSS 山陰放送 エフエム山陰 テレビ朝日鳥取支局 時事通信社鳥取支局 日本海ケーブルネットワーク株式会社 株式会社中海テレビ放送

- 駐車場** ◎ 全体会場①倉吉未来中心②上灘小学校校庭(未来中心の東約300M)を利用してください。いずれも無料です。
◎ 分科会場①倉吉未来中心②倉吉交流プラザ③上灘公民館④中部総合事務所（未来中心から2km）⑤新日本海新聞社（未来中心から約3km）④ハワイアロハホール（未来中心から約9km）各会場の駐車場をご利用ください。

12 参加申し込み及び弁当について

【参加券の申し込み方法及び申込先】

- 参加資料代 1,500 円（討議資料代・記録集代）
- 各市町村、学校、企業、関係機関等でまとめていただき、下欄の申込書にご記入の上、大会前（7 月 25 日（火）まで）に参加券を購入して下さい。当日も受け付けますが、できるだけ事前購入をお願いします。
申込先：第 42 回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会実行委員会事務局（鳥取県人権教育推進協議会事務局）
〒 680-0846 鳥取市扇町 21 県立人権ひろば 21 ふらっと内 TEL 0857-22-0578 FAX 0857-22-0593
- 個人での申し込みも、上記に従ってください。
- 代金は、振り込み（手数料は自己負担）、現金書留（返信用封筒（切手貼付）同封のこと）または直接持参でお願いします。
- 受付次第、参加券をお送りします。

【弁当申し込みについて】

- 弁当代 800 円
- 各市町村、学校、企業、関係機関等でまとめていただき、下記業者へ 7 月 25 日（火）までに直接申し込んでください。（「弁当申込書」は鳥取県人権教育推進協議会のホームページに掲載しております）
弁当業者：株式会社 アベ鳥取堂 フリーダイヤル 0120-13-1433 Fax 0857-24-4280
- 代金の支払い方法、弁当券等については、直接業者と相談してください。

13 その他

- 全体会・分科会とも、必ず受付を通り、参加票を係員に出してください。
- 障がい等で、駐車場・介助・案内などが必要な場合は、あらかじめ研究集会実行委員会事務局にお知らせください。
- ◎ 事務局所在地
研究集会実行委員会
〒 680-0846 鳥取市扇町 21 県立人権ひろば 21 ふらっと内
鳥取県人権教育推進協議会事務局 TEL 0857-22-0578 FAX 0857-22-0593
開催地実行委員会
〒 682-8611 倉吉市葵町 722
倉吉市企画振興部人権局人権同和对策係 TEL 0858-22-8130 FAX 0858-22-8135
大会当日事務局
〒 682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町 212-5（倉吉パークスクエア内）
県立倉吉未来中心（大会用臨時電話を準備）

※ 本研究集会はクールビズ対応（上着やネクタイ非着用）で開催します。

第42回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会 参加券 申込書

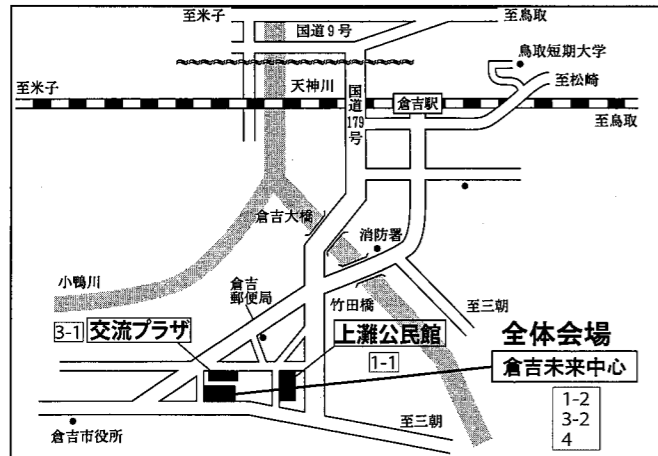
市町村及び 団体名	TEL - - FAX - -						申 込 数	参加券	
	〒							枚	
住 所 (所在地)							金 額	(1,500 円× 枚)	
申し込み 責任者								円	
参加分科会 (分散会) 人数	1		2			3		4	
	1	2	1	2	3	1	2		

※ 参加分科会の人数欄は、会場の諸準備をする上でおおその人数把握をしておくためです。予定で構いませんのでご記入をお願いします。
※ 障がいのある方への配慮等で、特別に要望がありましたら、下欄に記入して研究集会実行委員会事務局へお知らせください。
()

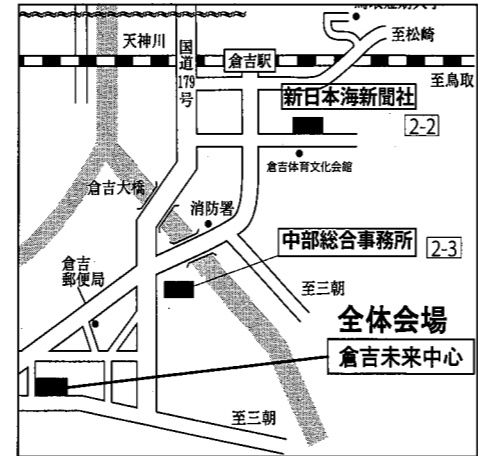
10 分科会（分散会）構成一覧表

分科会名	1 (人権文化社会の創造)		2 (就学前・学校教育の創造)			3 (共生社会の創造)		4 (学習講座・入門講座)	
討議の視点	○ すべての人の人権が尊重される地域づくり、社会づくりをどのように進めていくか。 ○ 社会教育関係団体・企業・行政等での人権学習・啓発をどのように進めていくか。		○ 子どもに向き合う人権教育・保育をどのように進めていくか。 ○ 一人ひとりの子どもの進路保障にどのように取り組んでいくか。 ○ 子どもたちの仲間づくりや自主活動をどのように進めていくか。			○ さまざまな人権課題を明らかにし、その解決と共生社会の実現に向けて、県民（NPO等市民団体）がどのように取り組んでいくか。 ○ 同和問題やさまざまな人権課題の解決に向けて、県民（NPO等市民団体）が関係機関とどのように連携を深めていくか。		○ 同和問題をはじめさまざまな人権問題に対する基本的な認識や考え方を深め、解決に向けた運動や取り組みにどのように生かしていくか。	
分散会	1 企業・社会教育関係団体	2 市町村人推協・団体	1 就学前・小学校	2 児童館・小学校	3 中学校・高等学校	1 あらゆる人権課題Ⅰ (同和問題)	2 あらゆる人権課題Ⅱ (災害と人権)		
会場	倉吉市上灘公民館 会議室1・2	県立倉吉未来中心 小ホール	ハワイアロハホール 大ホール	新日本海新聞社 中部本社ホール	中部総合事務所 講堂	倉吉交流プラザ 視聴覚ホール	県立倉吉未来中心 大ホール	県立倉吉未来中心 セミナールーム3	
報告者 (依頼機関・団体)	陰山 健二 (倉吉市同和問題企業連絡会・西日本旅客鉄道株式会社米子支社)	福田 克彦 (鳥取市宮下地区人権・同和教育推進協議会)	石まゆみ 藤原 尚子 (米子市立こたか保育園)	田中 寛 澤田 直美 (東伯郡児童館連絡会)	横山 義紀 田熊 稔昌 (北栄町立大栄中学校)	伊藤 和彦 (湯梨浜町立文化会館)			
報告題	「差別事象未然防止の取り組み」	「みんなが主役の人権尊重のまちづくりへ～宮下地区のチャレンジ～」	「本物とのふれあいを大切に！～自然・いのち・仕事～」	「宿泊研修だからこそ深まる絆『また あおうで！』の約束」	「学習会での調べ学習の取り組みを中心に・・・」	「つながる『中3』『解放研・高校友の会』交流会の取り組み」			
報告内容の概要	同和問題や「パワーハラスメント」「セクシャルハラスメント」「障がい者の人権侵害」といった職場で発生しうる差別事象について、全社員が人権研修を受講することでより理解を深めています。その研修内容等をご紹介します。	まちづくりは人づくり・・・みんなが主役の人権尊重のまちづくりに向けて、「安心・自信・自由」を人権のキーワードとして、小地域人権学習会に取り組んでいます。みんなで共に生きるまちづくりを語ろう。そんな活動を報告します。	物事を多面的に見て考えられる感性を育む為に、豊かな自然や、様々な仕事に触れる直接体験を大切に保育に取り組んできました。その中で、自分の思いを表現し、互いに思いあう気持ちを身に付けていく子どもたちの姿を紹介します。	今年で35回を迎える「東伯郡人権・同和教育小学6年生の集い」について報告します。解放子ども会・学習会に参加している6年生が集まり、人権についての理解を深め、差別やいじめを許さない仲間としての絆を深めていきます。	大栄中学校の学習会では、毎年、個人での調べ学習に力を入れてきている。様々な人権問題について学習した上で、各人がテーマを決めて調べ、まとめ、発表している。昨年度のこの取り組みを中心に大栄中学校での人権学習について報告したい。	同和問題解決の施設である隣保館職員として部落解放中部地区中学3年生交流会や中部地区高等学校解放研・高校友の会交流会等の人と人がつながる取り組みや課題を報告します。	「つながる『中3』『解放研・高校友の会』交流会の取り組み」	【災害と人権】 ＜講演＞ 認定NPO法人 ゆめ風基金理事 八幡 隆司 「阪神・淡路大震災で被災した障がい者の生活復興する活動から、東日本大震災、熊本地震にも現地での支援活動を行う。活動のきっかけや、災害と障がい者の現状について報告します。」 ＜パネルトーク＞ 八幡 隆司 認定NPO法人 ゆめ風基金理事 塚根 智子 倉吉市社会福祉協議会常務理事兼事務局長(鳥取中部地震 倉吉災害ボランティアセンターセンター長) 「災害ボランティアセンターの活動の状況、一期一会の人たちがチームを組むパワーや人の力のすばらしさ、復興やこれからのまちづくりに大切なものなど、災害ボランティアセンターを通して学んだことを報告します。」 生田 文子 中部ハートフルスペース支援員(前明倫小学校長) 「学校長として、避難所と学校の共存、そして“食”を通じて感じた人と人とのつながりを紹介します。“幸せなまちづくり”について考えていきましょう。」	【ワークショップの可能性を探る！】 ワークショップ(WS)とは、学習者が主体的に参加し、それぞれの知識や経験、意見等を共有することによって互いに学びを深めていく手法です。本分科会では、皆さんにWSの一端を実際に体験していただき、その後、登壇者(スピーカー)がWSの良さや難しさ、WSを使った人権啓発にどのような可能性を感じるか等話をします。 (スピーカー) 北栄町立北条中学校 中尾 智則 琴浦町役場 大田 望 (公社)鳥取県人権文化センター 中江 美紀 (進行役) 岡 研司 (公社)鳥取県人権文化センター
報告者 (依頼機関・団体)	平田 紀子 濱本 洋志 (倉吉市立上灘小学校PTA)	村上一成 川上 竜幸 (部落解放同盟鳥取県連合会江尾支部)	山田 正隆 (倉吉市立北谷小学校)	行司 志津 (米子市立箕敷屋小学校)	牧田 雅啓 (倉吉北高等学校)	福本 章 (部落解放同盟鳥取県連合会)			
報告題	「共に学び、共に育つ」	「青年部の社会貢献と自らの成長を目指し」	「豊かな人間関係を育むコミュニケーション能力の育成」	「わたしたちの人権宣言～『受け身の人権学習』から『能動的な人権学習』へ～」	「解放研の生徒と関わって」	「みんな輪になって」			
報告内容の概要	いじめ防止等のために、学校・地域・家庭が連携して取り組む「地域と共に創るとっとり人権教育事業」を中心に、活動を推進する中で、親子のつながり、子ども同士のつながり、保護者同士のつながり、それぞれがどのように変わってきたのかなどをご紹介します。	高齢化した集落で、人口も激減する中で活動休止していた青年部を、先輩たちの力を借りながら活動を再開し、集落にどのような貢献が出来るのか模索した。また、青年自らが人権意識の高まりを求めて学習に取り組んだ。その様子を報告する。	学校・家庭・地域の連携を通して行動化を目指してきた倉吉市久米中学校区同和教育研究協議会の実践と、本年度で3年目を迎えるホワイトボード・ミーティングの取組について紹介します。	「箕敷屋教育コミュニティにおける人権尊重社会の基盤づくり」をテーマに中学校区の研究を進める中で、人権学習の質的変換を試みてきました。「誰もが幸せに生活できる」社会を目指して、児童が考えた学級の人権宣言の実践を報告します。	地区に移住したことで、学習会に参加し、積極的になった生徒。その生徒が高校に入学して解放研として活動する中で心の環境の変化や、関わりを通じて、地区の存在と、自分の心を見つめ、そのことから気づいた課題を報告します。	「みんな輪になって」～成美小学校卒業記念碑と出上(いであみ)のフィールドワークの場所をつなぎながら私と同級生たちをめぐる～ 琴浦町立船上小学校の玄関にある卒業記念碑「みんな輪になって」は、出上解放運動と成美同和教育の象徴です。その成美同和教育発足の私と同級生たち。出上解放運動とその周辺を、出上地区フィールドワークに沿って、報告します。	「みんな輪になって」～成美小学校卒業記念碑と出上(いであみ)のフィールドワークの場所をつなぎながら私と同級生たちをめぐる～ 琴浦町立船上小学校の玄関にある卒業記念碑「みんな輪になって」は、出上解放運動と成美同和教育の象徴です。その成美同和教育発足の私と同級生たち。出上解放運動とその周辺を、出上地区フィールドワークに沿って、報告します。		
司会者 (2名)	小山 邦将 (鳥取市青谷町総合支所) 尾崎 公則 (倉吉市同和問題企業連絡会・倉吉駅)	田中 真一郎 (鳥取市美徳地区同和教育推進協議会) 植垣 郁子 (鳥取市人権政策監人権推進課)	田中 真由美 (湯梨浜町わかばこども園) 福原 潤一 (南部町立西伯小学校)	河井 園子 (東伯郡児童館連絡会) 押村 克彦 (中山ふれあいセンター)	椋田 智和 (三朝中学校) 松尾 晴夫 (鳥取県立鳥取中央育英高等学校)	中尾 美千代 (倉吉市人権文化センター) 前田 英敏 (部落解放同盟鳥取県連合会)			
研究推進委員 (2名)	西村 一秋 (部落解放同盟鳥取県連合会) 寺谷 孝志 (鳥取県教育委員会事務局人権教育課)	加持谷 典範 (江府町人権・同和教育推進協議会) 衣笠 尚貴 (((公財)鳥取市人権情報センター)	山下 千之 (倉吉市はばたき人権文化センター) 西垣 栄太郎 (鳥取県教育委員会事務局人権教育課)	福島 公明 (鳥取県児童館連絡協議会) 山本 裕児 (鳥取県教育委員会事務局人権教育課)	西垣 卓宏 (鳥取県教育委員会事務局人権教育課) 秋藤 泰之 (鳥取県立倉吉総合産業高等学校)	川口 寿弘 (鳥取県隣保館連絡協議会) 津川 俊仁 (部落解放同盟鳥取県連合会)			
運営委員 (2名)	田中 弘江 田邊 章浩	田中 くに枝 山根 博之	小谷 明寛 山崎 睦	小林 悟 山本 登	御船 齋紀 吉岡 悟志	八村 宏志 金谷 達美	石田 重幸 奥本 範子	尾崎 真理子 山崎 恵美代	
会場・記録 担当市町村	倉吉市	琴浦町	湯梨浜町	北栄町	三朝町	琴浦町	倉吉市	湯梨浜町	

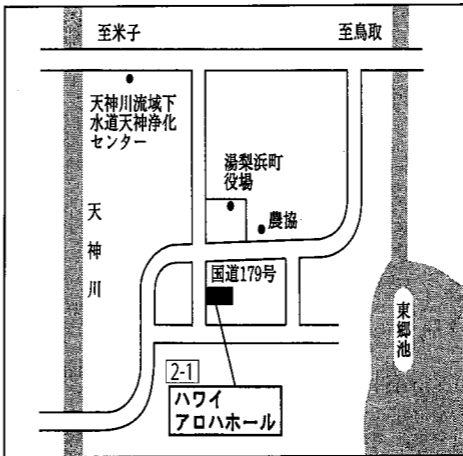
倉吉会場①
(未来中心・交流プラザ・上灘公民館)



倉吉会場②
(中部総合事務所・新日本海新聞社)



湯梨浜町会場



○倉吉未来中心 (TEL 0858-23-5390)
小ホール・・・1の2
大ホール・・・全体会 3の2
○倉吉交流プラザ (TEL 0858-22-0640)
視聴覚ホール・・・3の1
○上灘公民館 (TEL 0858-22-0640)
会議室1,2・・・1の1

○ハワイアロハホール (TEL 0858-35-5678)
大ホール・・・2の1
○新日本海新聞社中部本社ホール (TEL 0858-26-8300)
セミナールーム3・・・2の2
○中部総合事務所講堂 (TEL 0858-22-8141)
・・・2の3

※ハワイアロハホール・新日本海新聞社中部本社・中部総合事務所へは倉吉未来中心よりマイクロバスが出ます